



Japan Sporting Equipments Retailers Association

No. 76

編集/発行:日本スポーツ用品協同組合連合会
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-8-6
東京スポーツ会館 301号室
☎ 03-5829-6490 FAX 03-5829-6491
ホームページ <http://www.jsera.jp/>
E-mail jsera@jsera.jp

(2015/8~2016/7のスローガン)

拡げよう絆 深めよう組織力!

40年前のボディーブロー

← 40年後のボディーブロー



JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

理事長 重森 仁

みなさま、如何お過ごしでしょうか。暑い夏、ささやかな冷風を期待しますが、何時吹くことやら。高校野球の熱戦を見るたびに、スポーツに関わるわれわれの商売は正々堂々たれと思うのですが、自己中(虫)が飛び跳ね寝苦しい夜(世)も多々あります。商売は勿論ですが、組合活動で一番思うことは、組合員が団結、成果を上げるには、有力店が大所高所に立って積極的に行動することだと思います。大きい店が自己中になれば、空中分解してしまいます。業界においては、有力なメーカー・卸・小売の哲学が大きな影響力を持つことでしょう。常に、業界を見通した経営判断をお願いしたいものです。英国の国民投票に見るように、行き過ぎたグローバル化に対する不満は各地にあるようです。我が国においても、グローバル化と良き日本の伝統のバランスが必要かと思えます。スポーツ業界において、日本を代表するメーカー・卸・小売様に是非、その感覚をもっといただきたいと願います。

さて、笹川スポーツ財団の発表(本年6月発表、調査は昨年)によれば、中学生男子が実施した

スポーツランキングで、とうとう野球が3位に転落したとのことです。サッカーに抜かれたものの、2位の座は死守してきたのですが、昨年の調査でバスケットボールに抜かれてしまいました。今年、私の近隣のある中学校では、新入生の野球部への入部はゼロだと聞いています。野球型スポーツ離れは深刻です。高校野球は安定した数字ですが、小中学生の状況を見るに、もっと危機感を持つべきでしょう。

なぜ、野球型スポーツ(野球・ソフトボールなど)離れが進行したのでしょうか。多くの要因が考えられるでしょうが、主要要因の一つに小学校の学習指導要領から野球型スポーツが消えたことが挙げられるでしょう。昭和50年代に小学校の学習指導要領から野球型スポーツが削除されました。投手と捕手の運動量はあるものの、野手の運動量が少ない。まして投手のコントロールが悪ければ、手を組んで見ている生徒も出てしまいます。これでは、野球は日本の国技的存在といっても、体育の授業にならないとの理由(他にも理由はあります)で削除されたのです。小学校の学習指導要領から削除され

れば、それまで夏休みに盛んにおこなわれていたソフトボール大会も徐々に減少しました。スポーツ少年団は、その受け皿としてフォローしてきましたが、学習指導要領から削除されたボディブローがここにきてかなり効いてきたようです。学習指導要領から消えた頃の人たちが、今、小学生・中学生の親になっています。小さいころに野球・ソフトボールをした経験は減少しつつあります。それが再生産されてきていると心配します。平たく言えば、野球・ソフトボールを刷り込まれた子どもたちがどんどん減少してきた訳です。

あるメーカーが学納品の戦略を練り直していると聞きます。低価格帯の商品は作らない。サイズもSS以上とするとのこと。採算面からでしょうか。小学生には、サイズ面から対応できません。価格面から中学生への対応も難しいと思われ。このメーカーのブランドは多くの子どもたちの視野から消えていく恐れがあります。もし子どもたちの視野からそのブランドが消えていったらどんなことが起こるのでしょうか。刷り込まれなくなったブランドはどうなっていくのでしょうか。40年後はどうなっているのでしょうか。思いとどまって欲しいと思うのですが。私は、学納品こそ日本におけるスポーツ用品の原点だと思います。グローバル資本主義の妄信とまでは言いませんが、ちょっと立ち止まって冷静に我々の声を聴いてほしいと切望します。

さて、野球型スポーツの方は、早稲田の吉村正教授の提案で、数年前に見事、学習指導要領復活を果たしました。それは、ティーボールとしてです。ティーボールを工夫することで、かつての野球型スポーツの運動量の偏りを是正しました。置いたボールですから確実にヒットできますし、全員一回りしてから、チェンジしますから、各自それなりの運動量が確保できます。子どもたちが生き生きと走り回るすがたを見れば

体育の授業にふさわしいと理解できます。また、ボール等が工夫されて体育館でも出来、雨の日も安心になりました。

JSERA 島根全国大会では、浅津さんや尾坂さんの尽力で吉村教授の講演をいただきました。それをきっかけにティーボールに取り組み始めている県組合、ブロックもあります。また、文部科学大臣杯争奪の小学生3・4年生全国ティーボール大会は毎年、埼玉県西武プリンスドームで開催され、大いに盛り上がっているようです。関東方面では、幼稚園で実施されているところもあると聞きます。

今後、子供たちの間でティーボールが盛んになれば、やがて野球・ソフトボールの競技人口増加につながることを期待できます。野球型スポーツの活性化には、課題は多々ありますが、まずは入り口を見つけられたことを嬉しく思います。小さいころの刷り込みを過小評価してはいけないと思います。

業界内で吹く構造改革の風、もちろんそれを否定するものではありませんが、大ナタを振るった後には必ず傷がつきます。それをケアするくらいの余裕を持って欲しいと思うのは、私だけでしょうか。



第17回定時総会 和歌山大会近づいてきました。



和歌山県スポーツ用品小売協同組合

理事長 瀧本 明生

全国の組合員様には、元気に御商売にお励みのこととお喜び申し上げます。昨年は昭和46年「わかやま黒潮大会」以来44年ぶりに「紀の国わかやま国体」「紀の国和歌山大会」を開催し、無事終了することができました。

また今年は大きな行事の一つ、第17回定時総会（大会スローガン「みんなの力で感動のお手伝い!!」）が、10月20日～21日の2日間に渡り徳川御三家の一つ紀州徳川家の地であるこの和歌山で開催されます。ここで、紀州徳川家の紹介を少しさせていただきます。1619年、徳川家康の十男徳川頼宣が初代紀州藩主について以来、第5代藩主吉宗と第13代藩主慶福がそれぞれ第8代將軍徳川吉宗、第14代將軍徳川家茂となっており、御三家のうちで征夷大將軍を輩出した唯一の家であります。

こうした歴史ある和歌山で、現在、大会準備の真っ最中です。皆様にご満足頂ける素晴らしい大会を開催できればとの思いで計画しております。

研修会第1部では、日本高等学校野球連盟事務局局長竹中雅彦氏の講演を予定しています。私たち多くのスポーツ店は、多かれ少なかれ“野球”というカテゴリーを仕事のひとつとしてきました。これからも野球の分野を継続していく中で、竹中氏のお話は私たちにとってとても良いアドバイスとなることでしょう。

小学校学童野球、中学校軟式・硬式野球、高等学校硬式野球のクラブに参加している球児にとって、「甲子園に行くのだ!」という夢の後押しが私たちスポーツ店の大事な仕事だと思えます。

また、研修第2部は再び野球についてのパネル

ディスカッションを計画しています。JSERA近畿ブロック協議会のメンバー及びメーカー様にも参加していただき、いろんな問題点（学童野球の選手数の減少等）を探り、野球の将来像を考えてみましょう。

また研修第2部の別研修といたしまして、JSERA広報委員会の吉田委員を中心にレディースフォーラムの開催を計画しています。私たちの店内の仕事として、女性は大変重要な役割をされていると思います。ぜひ奮ってレディースフォーラムにご参加いただき、何か一つでも良いアイデアをお持ち帰りください。

この研修会を通して、少しでも皆様の経営のお手伝いができるよう大会運営してまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

最後に、21日（金）のエクスカーションについてご説明申し上げます。まずは世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」高野山をご案内致します。昨年平成27年（2015）弘法大師空海が高野山を開創し1200年を迎えました。いにしえの薫りと千年の祈りに出会えるパワースポットであります。高野山真言宗の総本山「金剛峯寺」はじめ117のお寺があなたをお迎え致します。ご昼食は高野山にて精進料理をご用意しています。

それから、大河ドラマ「真田丸」縁の地九度山の「真田庵」と今年3月新しくオープンした「九度山・真田ミュージアム」へのご案内致します。真田昌幸（幸村の父）は、関ヶ原の戦いで西軍に味方したことから試練に見舞われます。昌幸・幸村父子は一命を許されたものの高野山に蟄居を命ぜられ、昌幸は高野山から移り住んだ九度山で生

涯を閉じます。その後幸村は大坂冬の陣・夏の陣に参戦し、生涯を閉じます。そんな幸村の半生を感じ取っていただけるかと思えます。

以上のような企画でおもてなし致します。楽し

んでいただければ幸いです。

皆さまの多数のご参加を組合員一同、心よりお待ちしております。

ブロック大会報告

北海道・東北ブロック 大会報告



福島県運動具商業協同組合
理事長 渡辺 恭一

北海道・東北ブロック大会は、平成28年6月21～22日にかけて福島県いわき市のスパ・リゾート・ハワイアンズで行われました。メーカー6社、問屋7社、JESERA組合員27社、そして講師1名、全国理事長1名、総勢42名で開催されました。はじめに定時総会でブロック会長 松村善行会長の挨拶と渡辺恭一福島県理事長の歓迎の挨拶があり、その後重森 仁全国理事長の来賓祝辞を頂きました。続いて議事に入り、27年度の事業並びに決算報告と28年度の事業計画と予算の審議がなされ、拍手により全て承認されました。役員改選により、新たに宮城県理事長の早川純一氏がブロックの会長に選ばれました。協議事項として来年度のブロック大会の会場が山形に決定いたしました。続いて、スポーツビジネスサポート



の浪川壽夫氏により「2016スポーツ業界はこう変わる、スポーツ店はどう変わる」と題して講演会が行われ、大変厳しい業界である事、メーカー・問屋さんのサバイバル時代へと変わっている、それに伴い、メーカー・問屋さんの、小規模店の切り捨て、掛け率の大幅な上昇、返品・値引きの禁止等メーカー・問屋さんが生き残るために義理人情をかなぐり捨てる時代になってきた。グローバルスタンダードと言うことで、今までの商慣習が大幅に変わってきた。それではどう生き残るか、ターゲットを絞り、大型店にもネット販売にも勝てる分野に集中し、その分野で絶対勝てるようにすることが必要。強い意志を持ち自店の強みを進化させ頑張ってくださいと結ばれました。その後懇親会に移り、和やかに懇談した後に、ハワイアンセンターメインのフラガールショーの会場へ全員移動、はじめに男性による松明を使った激しい踊りが有り、続いてプロジェクションマッピングで花や蝶が写しだされ、そこに色とりどりの多数のフラガールが現れ踊りを披露しました。その迫力には圧倒されました。

この後、数種類有るお風呂でそれぞれゆっくり過ごしていただきました。



翌日は、天候に恵まれ、車で10分ほどのサラブレッドカントリークラブで15名の皆様にゴルフを楽しんでいただきました。優勝は北海道の吉田留美子さん、準優勝は宮城の早川純一さんでした。吉田さんは女性でも、レギュラーティーからのショットでの優勝、グロス87は立派です。2年後の全国大会への参加、お待ちしております。



JSERA 中部ブロック 大会を開催して



三重県スポーツ用品協同組合
理事長 角前 博道

伊勢志摩サミットが終って間も無い6月8日、本年度の中部ブロック協議会三重大会を開催いたしました。本年は主管が三重県です。七年前に全国大会を行った鳥羽のリゾートホテル エクシブ・アネックスでの大会でした。

来賓として、大阪スポーツ用品卸商業組合の井本理事長、元JSERA理事長の辻本顧問、JSERAの重森理事長、JASPOの宮地専務の4名の方々に御参加頂きました。メーカー・卸から二十二名、各県組合から二十名と地元三重の組合員を加えて総勢五十六名の大会でした。今年は研修の部では、

アンチドーピングがオリンピック前と云うこともあり、大変さわがしくなっていますが、我々は本当の所、あまりよく理解していません。そこで、筑波大学の准教授であり、当三重県伊勢市出身の向井先生をおまねきして、「スポーツにおけるドーピングの現状と対策」と云う題目で、講演を頂きました。第二部には、今年六月で退任されるJASPOの専務とスポーツ用品公正取引協議会の専務等、長い間業界に尽して頂いた宮地氏に、「スポーツ用品の表示に関する公正競争規約の普及・啓蒙業務」について講演をお願いしました。両講演合わせて2時半にもなる勉強会でしたが、居眠りする人も無く、真剣に聞いてくれていた様です。懇親会は3月のブロック理事長会議の時、松阪牛を食べたいとのことで、エクシブに無理を申し上げ、メニューにはない料理（ただ単に肉を焼いて食べるだけけど）を出してもらいました。翌日は、内宮へ希望者を参拝におつれしました。以上で報告を終わります。





第9回 販売促進活動懇談会

日本スポーツ用品協同組合連合会
共生委員会 堀田浩一

共生委員会は3月9日大阪、4月20日東京に於いて、メーカー、卸出席のもと「みんなでおこなう業界努力」を議題に第9回販売促進活動懇談会を実施致しました。

大阪では卸と小売りの協調で何が出来るか。情報交換、コミュニケーション強化の必要性、共同商品の開発は可能か等、意見を交換し今後の方向性を模索。

東京では配送方法と掛かる費用の現状と経費削減に向けて、小売店には曜日出荷を行ったり、工

場の発送地域が異なっている事によるより、同一商品でもメーカーによって運送費が違う等の意見が出た上で、「JSERA 運賃価格」として安価な統一価格を要望。また、体育器具のカタログについても、各器具メーカーを一冊にした「JSERA 体育器具総合カタログ」作成の実現化。ボール及びシャツルの現状と今後の見通しに関して、原価が毎年上がり続けるのか。同一規格の商品に整理できないのか等の質問が出ました。

<参加メーカー・卸> 19社

- | | |
|-----------|--------------|
| (株) イモト | (株) エスエスケイ |
| (株) ザナックス | 三共スポーツ(株) |
| ゼット(株) | ヒロウン(株) |
| ミズノ(株) | アシックスジャパン(株) |
| ベンゼネラル(株) | (株) エバニュー |
| (株) 三英 | セノー(株) |
| (株) タマス | トーエイライト(株) |
| 日本卓球(株) | (株) ミカサ |
| (株) モルテン | ヤマト卓球(株) |
| ヨネックス(株) | |

熊本地震義援金についてのご報告

平成28年4月14日に発生した熊本地方を震源とする地震に関しまして、被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

この度、JSERAでは、被災された組合員の方々を支援するために義援金を募りましたところ、皆様のご協力により多くの義援金が集まりました。

温かいご支援ご協力ありがとうございました。義援金は5月31日付でJSERA九州ブロックへ1,000,000円送金いたしましたのでご報告申し上げます。

早々に、熊本県福島理事長様より義援金へのお礼文が届きましたので、ここで紹介させていただきます。

平成28年 6月 3日
日本スポーツ用品協同組合連合会 様

熊本県スポーツ用品協同組合
理事長 福島誠

平成28年熊本地震に際してのお見舞金御礼

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度4月14日並びに4月16日未明に発生しました「平成28年熊本地震」に際しまして心温まるお見舞金を頂戴いたしまして心より厚く御礼申し上げます。

4月14日前震と呼ばれる1回目の地震後、組合員に対し安否状況や店舗の状況について問い合わせを行いました。特に被害が大きいと思われた熊本市東部や阿蘇地域のお店でも商品が棚から落ちたり、書類が散乱したりした程度で幸いにも被害状況は報告されませんでした。しかし、4月16日未明に本震が発生し被害状況は一変しました。

大まかなお店には電話での確認、その後ある程度経ってから文書での確認を行った結果、代表者や従業員の方々への人的被害はなかったものの、外壁が一部崩れ落ちたり、亀裂が入ったりあるいはタイルが落ちたりした店舗、また棚が倒れたり商品や書類が落ちたりした店舗等数多く報告がなされました。

また、代表者様のご自宅においても家が傾き引き続き住むことが出来なくなった家やマンションで上層階からの水漏れや配管等の破損により住むことが出来なくなった家等もありました。短期間での最大震度7が2回という今回の地震では、想像を絶するものでした。

私たちのお得意様でもある学校も 遅いところでも5月11日には再開され日常生活に戻りつつありますが、約1ヶ月の休校により体育祭やプールの授業の中止を決められた学校もあり、また各市や町の総合体育館では未だ避難所として利用されているため各種大会が中止となるなど私たちを取り巻く状況は厳しいものとなっています。

5月末日現在一連の地震による余震も1,600回を超え、まだまだ不安な日々が続いていますが、再興に向けて一歩一歩前進していくことで一日も早い復興につながるのではないかと考えております。

今回頂戴いたしましたご厚情に対し深く感謝申し上げます、引き続きご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬 具



新理事長としての抱負

福井県スポーツ用品協同組合

理事長 小林 利一

この度、5月の定期総会に於きまして理事長に就任致しました有限会社スポーツコバヤシの小林利一でございます。私は福井県の敦賀市という人口7万弱の所で野球用品を中心とした店をやっております。私は22歳の時に父を亡くし大学卒業と同時に家業のスポーツ店を継ぎました。当時を思い出しますと、良い時代だったなあと思います。そんなに努力をしなくても店の在庫商品が値上がりして売上げが上がり利益が伸びる様な時代でした。私は野球が好きで草野球チームに入り野球を楽しむと共に、店は商売につながって野球用品がよく売れました。趣味と実益を兼ねて好きな野球をしながら商売が出来るという良い時代でした。平日の5時過ぎから軟式野球連盟の公式戦があり、そんな時間に9人以上のメンバーが集まって試合をするという今では考えられない様な時代でした。20代で敦賀市軟式野球連盟の事務局長となって商売と共に野球の役をやりながら今日に

到っております。野球を中心の商売をやりながらスキー用品も扱いました。スキーバブルの時にはおもしろい様にスキーが売れました。しかし売上げが上がっても利益にならない厳しい商売でした。あの当時雪が降らない年には大量のスキー用品を残し途方に暮れた事もありました。スキー商戦の厳しい時代の中で同業者も淘汰されていきました。幸いにも私の店は生き残る事が出来ましたが荒波にもまれながらの商売であったと思われま
す。あの20代の高度成長の良い時代から今ではどれだけ努力してもなかなか売上げが伸びない利益が出ない時代になってしまいました。

厳しい経営の組合員同士がいがみ合って利益のない戦いをしない様、組合員同士が仲良く話し合いながら商売をやっていければいいと思っております。私は竹原和彦前理事長の様な強力なリーダーシップもありませんし、組合員を引っ張って行く力もありません。組合員皆様の協力がなければやっていけませんので、組合員の皆様の指導を仰ぎながらやっていきたいと思っております。今年の8月には全国中学校体育大会が福井県で開催されますし、2年後には国民体育大会がやってまいります。組合員同士が一致団結して国体の売店活動を成功させたいと思っております。

最後になりましたが、JSERAの皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしく御願ひ致します。



新理事長としての抱負

岐阜県スポーツ用品協同組合

理事長 堀田 浩一

平成28年度定時総会に於きまして、岐阜県理事長に就任いたしました(有)ザスポヨシオカの堀田^{ほった}浩一^{ひろかず}です。澤田前理事長の組合を統率する力量には程遠いですが、役員を中心に心をつにして、岐阜県を盛り上げていく所存でございます。

私の親父の理事長時代の環境と違って、ネット

販売、大型店の進出、メーカーの体質の変化等と我々、小売店を取り巻く問題が山積みする中、組合員にとってメリットの出る組合を目指し、力を合わせて邁進する覚悟でございます。

各組合員にはJSERA本部からの「スポーツ器具管理アドバイザー」「スーパートリノ」等のイニシアチブ、アドバンテージの有る武器を駆使して、会員増強、非組合員の店との差別化をはかり、「街の運動具屋さん」としてお客様に顔のわかる商売、心の通じ合う商売をしていく事が大切ではないかと考えます。

これからも岐阜県スポーツ用品協同組合への御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。



新理事長に就任して

山口県スポーツ用品小売協同組合
理事長 河上年博

去る2月17日の山口県スポーツ用品小売協同組合定例総会にて、理事長に指名頂きました。私の組合活動参加は叔父のスポーツ店を引継いだ平成12年(2000年)からで、当時は先輩方がたくさん在籍され、様子も分からずただ話を聞くのみでした。そんな私が組合の理事長になる日が来ようとは夢にも思いませんでした。身の引き締まる思いとともに責任の重さを感じています。山口県スポーツ用品小売協同組合の歴史を紐解きますと昭和58年(1983年)34社でスタートしていて、現在山口県は20社の組合員を有しています。今年は県内でインターハイ7競技が開催されますので、活発になる組合活動を通じて組合員の連携をさらに加速させ、さらに若い世代のネットワーク作りにも挑戦したいと思います。近年は大型店やインターネット通販等でお客様の購買形態

が昔とは大きく異なり既存店を取り巻く環境は厳しいですが、この状況を少しでも打破出来るように組合員の相互交流や親睦を図り、組合の意味や意義を感じていただけるように努力したいと思います。私事になりますが、弊社も引継ぐ前は何の特徴もない小規模店で、時代の流れとともに売上も減少傾向にありました。私は昔からバスケットボールが大好きで当時クラブチームの監督や出身高校の外部コーチをやっていて(現在も継続中)練習や試合、遠征に出やすい環境を作る為に店をバスケット専門店(プロショップトリプルダブル)に衣替えしました(地域のスポーツ店としてはマルヤスポーツ)。動機は不純?かもしれませんが、店造りは自分が行きたい店にしたらいいと全く迷いありませんでした。バスケットにのめり込んだお陰で指導している高校は現在まで全国大会20回出場できましたし、県協会の幹部としても活動中です。同じ競技の多くの仲間が結果的には力になってくれています。“好きこそ物の上手なれ”理想と現実のギャップは必ずありますが、周りの皆様の少しでもお役に立てるようにこれからも努力したいと存じます。今後ともよろしくお願い致します。



新理事長として抱負

香川県スポーツ用品協同組合
理事長 苧坂洋二郎

香川県スポーツ用品協同組合新理事長に就任しました有限会社オサカスポーツの苧坂と申します。JSERAの皆様よろしくお願いいたします。まず冒頭に、4期8年間に渡り活躍、貢献なされました篠原前理事長、宮武専務理事に対し敬意を表し労をねぎらいたいと思います。

お二人は任期中、長年の課題でありました協同組合の設立、また、組合としての事業拡大、全国

中学体育大会・全国中学生空手道大会での売店運営成功等々に尽力されました。

この流れを活かしさらに発展するように努力したいと思います。

皆様もご存じのように、香川県の面積は全国一小さな県です。車を走らせれば1時間少々で県境から県境まで行けるほどです。

そこに平成5~6年には組合加入店が35店あったスポーツ店が今や17店となっております。大型店・組合未加入店が増加し、売り場面積は拡大したような状況ですが、組合店では大方の店が大型店・インターネット販売のために店売りが減少し、苦戦しております。

組合としての価値観を高め、どのようにすれば組合店にメリットを与えられるか、組合が発展できるかを模索し、努力したいと思います。

女子会の扉

サラリーマンの妻になったのに・・・

和歌山県スポーツ用品小売協同組合
有家富士代
(株)ミキスポーツ

結婚3年目で突然の脱サラ、二人目がおなかにいる時です。生活は一変し、その日暮らしに変わりました。

“スポーツ店をやるぞ！！”

娘が生まれてすぐの頃、庭を潰して建てた小さな店でのスタートです。主人は少しばかり野球の経験があり“スポーツといえば野球でしょう”と商品の仕入先を探して廻り、アサイ運動具店様にたどりつきました。

野球用品と少しばかりのスポーツウェアを置いただけの店、今から思えば・・・本当に無茶苦茶です。

野球どころかテニス以外はまったく無知の私にとっての頼りはアサイさんの総合カタログ、このカタログが教科書、虎の巻。教えてくださるのはお客様とアサイさんの担当の方。

本当にお世話になりました。そのうち私も必要に迫られ見よう見まねでグローブの修理やP皮打ち、ユニフォームのマーク付けと日々成長してまいりました。

地元の少年野球の監督さんたちもひいきにして下さり“がんばれば何とかやっていけるかな”と思った矢先、近くに大きなスポーツ店がオープン！売上げ激減！！

打開策として小さな店でもかさばらず、他店との競合も少なそうで、私にも馴染みのあるテニス

用品を販売するようになりました。そうこうするうちに近くにテニススクールが出来ました。テニスに未来を見た主人は、すぐにガットの張り方をメーカーや他店に教えを乞い、和歌山市内にこれまた小さな、小さなテニスショップを立ち上げたのです。

別々に店を持ち1人で店の切り盛り、家事、育児と泣きたいくらい目の回る忙しさ。やがてテニスブームの訪れでテニス1本に賭けることに。

新店オープンにあたり、店の顔となるウェアの仕入先を探してメーカーを廻りました。苦労は付き物です。厳しい条件付きのものもありましたが、創業からコツコツ積み重ねた信用も頂戴していたようで親切に接していただく事もありました。

ブームに後押ししてもらって、現在があります。

10年一昔と言いますが、今年で創業40周年になりました。

これも一重にお客様のお蔭です。と共に、メーカー様、問屋様の助けなしには、続けてこれなかったと思います。

数年前より息子に代が替わりましたが、皆様これからも宜しく願います。

“願わくば、錦織圭くんの活躍で、第二次テニスブームの波が・・・”
という欲張りの私でした。



全国大会に

参加しましょう!!



今年で5回目を迎える、レディスフォーラム。女性同士で意見交換ができないものかと思
い4年前北海道で全国大会開催時に企画をして全国の知り合いの女性の方々に声掛けを致し
ました。2年前の金沢大会では女性会員の行動力とおもてなしには、感動して帰路に着いた
思い出が今も鮮明に思い出されます。1年に1度の全国大会、特に地元の女性にはぜひとも
参加してほしいのです。女は喋る動物です。ストレス発散になるかもしれません？

この業界女性の活躍なくして成り立ちません！さあ皆さん私達と色々な話をしてみませ
んか！

北海道札幌市 ホクトスポーツ 吉田留美子

アジサイの花の季節となりました。JSERA 会員の皆様、お変わりありませんか。さて、毎
日の生活のなかで、仕事に追われていませんか。何か困ったことはありませんか。いろんな悩
み抱えていませんか。

今年も全国大会が、和歌山県で開催されます。女性だけの話し合いがもたれます。札幌大
会からはじまり、今度で5回目を迎える「レディスフォーラム」にぜひ参加してみませんか。
きっと心が満たされ、元気をもらえる話がたくさんあると思います。女性だけでおおいに語
ろうではありませんか。女性の参加する大会が少ない中で、全国大会という場所で、有意義
な時間を共に過ごしましょう。女性の皆さんの参加を呼びかけます。和歌山でお会いしまし
ょう。お待ちしております。

石川県七尾市 かぶとやスポーツ 甲 サキ子

厳しい暑さが続いておりますが、JSERA 会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。
1年が経つのは早いものですね！

昨年、長崎県で開催された全国大会がついこの間のように感じます。

全国大会の講演は開催される県で、活躍されている経営者の方々（長崎ではジャパネット
たかた前社長 高田明氏）の貴重なお話が聞けて、何よりパワーを貰えますが、もう1つパ
ワーが貰えるのが「レディスフォーラム」です。

札幌大会から今年で5年目を迎えますが、まだ全国大会でこのような集まりがあるのを知
らない方もおられると思います。

今年の全国大会は和歌山県で開催されます。

地域で活躍されているパワーのある女性が一堂に集まる活発な会ですので、第一線で頑
張っている女性の皆さん！全国の情報をシェアし、付加価値のある会社、店作りを行って
いきましょう！

それでは、和歌山でお会い出来るのを楽しみにしています。

岡山県岡山市 栄光スポーツ 三宅 直子

第17期 第5回理事会報告

日時：平成28年4月21日（木） 11：00～16：30

場所：東京スポーツ会館4階 会議室

<報告事項>

1. 理事長報告

- 〔2月16・17日〕スポーツ用器具
管理アドバイザー講習会（岡山）
- 〔2月22・23日〕スポーツ用器具
管理アドバイザー講習会（愛知）
- 〔3月9日〕販売促進活動懇談会（大阪）
- 〔4月20日〕販売促進活動懇談会（東京）

2. 委員会報告

<活性化委員会>

美馬委員長

- ・2月2日の卸との懇談会時にオリンピックマーク（エンブレム）とJSERAマーク付きのポロシャツ・ジャンパー作成に向けてアシックスで、話し合いの場を設けた。

<共生委員会>

武宮委員長

- ・3月9日大阪にて第18回販売促進活動懇談会を開催。
- ・4月20日東京にて第9回販売促進活動懇談会を開催。みんなでおこなう企業努力を議題に、参加者ひとりひとりから意見を聞き、有意義な会であった。

<広報委員会>

松村委員長

- ・JSERAレポート75号（3月20日発行）発行。
- ・JSERAレポート76号（7月20日発行）はボールを贈ろう事業、ブロック総会の報告、全国大会に向けて、正常化委員会報告、熊本地震、オリンピック関係等をテーマに作成予定。
- ・メール配信の活用については、震災状況の報告や消費税等について配信していければと考えている。

<事業委員会>

角前委員長

- ・シースカイ商品について話を進めている。

<会計>

前田理事

- ・3月末で今期3分の2が終了。状況について報告。

<総務委員会>

土赤専務理事

- ・スポーツ産業新報新聞購読の促し。

<審議事項>

1. 全国大会（和歌山県）の件

- ・和歌山県の瀧本明生理事長より資料を基に説明があった。
- ・前夜祭は行わない。前泊については斡旋する。
- ・研修会第1部は講演会を予定している。第2部については2会場を予定しレディスフォーラムともう一つは検討中。
- ・当日スケジュールについては、ホテルの会場設営等の都合と合わせて再検討する。
- ・JSERA年間スローガンは、次回理事会にて決定する。（基本的な部分は全員一致で承認）

2. 全国理事長会議の収支報告の件

- ・資料の通り。（全員一致で承認）

3. 次期全国理事長会議日程の件

- ・今期と同じ“ニューオーサカホテル”で開催することに決定。日程は2月6日全国理事長会議、7日JSEC連絡会議及び三大大会伝達会議。大阪見本市は2月7・8日開催。（全員一致で承認）

4. ボールを贈ろう事業の件

- ・昨年と同様で各県への補助金はJSERAと卸組合からで17,000円とする。
- ・各県行政と話し合い、アピールして実行していただきたい。
- ・卸組合からの協力金についてもアピールしていく。（全員一致で承認）

<協議事項>

1. 役員改選の件

- ・各ブロック代表理事の選出を早い時期でお願いしたい。
- ・役員候補者については満75歳未満でなければいけない確認を行なった。

2. 組員メールアドレス使用方法について

- ・全組員のアドレスは揃っていないが、震災状況や軽減税率対策補助金の案内等を準備が出来次第メールでお知らせしていくように進めていく。

3. 「スポーツ用器具管理アドバイザー」制度の現状報告と今後について

- ・講習会受講費は一人16,000円（弁当・お茶2食分含む）＋テキスト代2,500円とする。（組員対象のみ）
- ・前講習会を受講していない場合の受講条件とし入社3年以上の者にしてはどうかの意見が出た。
- ・講習会会場の施設の方には、講習を受けてもらってもよい。
- ・関東・近畿・九州での講習会は次回理事会で日程決めをする。

4. その他

- ・熊本地震の義援金について、九州ブロックを除く各都道府県に声をかけ、九州ブロックに送る。沖縄県については義援金のお願いをする。
- ・シースカイ商品は各ブロック総会で商品説明行い、拡げていく。また、ネックタイプの商品改良としてつなぎ目の木製の部分をメタルに変え、JSERAマークを入れる。
- ・ポンチョを商品として扱えないかの提案が出された。次回の理事会に於いて具体案の提出をいただく。事業委員に属す。



オリンピック こぼれ話し(9)

事業委員長 角前博道

リオデジャネイロの圧勝でした。14年にワールドカップを開催するブラジルが、その2年度にオリンピックを開催する経済力があるのかという不安もありましたが、南米での初のオリンピックとのキャッチフレーズと勢いが追風となったようです。

さていよいよ東京五輪の開催地決定についてですが、大方の予想では、東京にすんなりと決まるとは多くの関係者も思ってなかった様です。結果を先に書きますと、1回目は東京42票、マドリードとイスタンブールは同数の26票でした。2回目は最下位を決めるための投票で、45票対49票でマドリードが落ち、決戦の3回目は東京60票、イスタンブール36票で、思いもかけない大差で東京が開催地に決定しました。今回のこのオリンピック開催レース、当初はイスタンブールが有利とされていました。「ヨーロッパとアジアの架け橋」という立地条件、それに「イスラム圏初」との利点がありました。ところが、数ヶ月前、トルコ国内に現政府への反対運動が起こり、デモが相次いだ。その間隙をぬって、スペインのマドリードが巻き返しをはかって来ました。スペインは経済不安と云う大きな弱点があるのにもかかわらず、スペイン皇太子、IOC理事でもあるサマランチ前会長の息子ジュニアを表面に出して猛烈な攻撃を仕掛けてきました。東京はもともと治安の良さと財力の確かさがありました。この3月のIOC評価委員会の視察とその公表された「評価報告書」でも読みとれました。その後マドリードは前記した2人を中心とする、ロビー外交は、目を見張るものがあり、トップを走っているのは東京かマドリードか見かたによっては分かれる程でした。ロビー活動を得意とするマドリードは、現地入りしてから猛烈に投票権をもつIOC委員にアプローチをし、むしろ反感を買う程だった様です。あるスペインの新聞は、「7名の委員がマドリードに投票してくれることを確約した」としてその氏名と、顔写真入りで報道されたとか。これに怒った委員達がマドリードに投票することを止めたとも云われています。又、今回現地に行った人達は口をそろえて、日本の招致団のチームワークの良さと最終プレゼンテーションのすばらしさが東京に勝利

をもたらしたと話しています。前回の教訓が随所に生かされていた様です。やはり「失敗は成功の元」と云えるのではないのでしょうか。

さてここでオリンピック開催都市を決定するIOC委員について書いておきます。IOC委員は104名、これを5大陸別に分類すると、ヨーロッパが1番多く45名、アジアが23名、アメリカ18名、アフリカ12名、オセアニア6名となっています。そのことから、オリンピックは発祥から去っても、ヨーロッパのものと云う考え方が強いと思われま

す。さて最後に東京に勝利をもたらした、すばらしい6名のプレゼンターを紹介しておきます。JOC会長竹田恆和氏、元総理で現在副総理でありオリンピック選手であった麻生太郎氏、東京都知事猪瀬直樹氏、フリーアナウンサー滝川クリステルさん、招致委員会副理事長のミズノスポーツ会長水野正人氏、フェンシング銀メダリストの太田雄貴氏です。この6人はそれぞれの立場ですばらしいスピーチで、東京オリンピックの招致を懸命に訴えてくれました。よかったよかった！

初め軽い気持ちで書き始めたオリンピックこぼれ話し、もっと簡単にと思っていたのが8回、原稿用紙にして40数枚になってしまいました。初めの頃何を書いたか忘れてしまっています。書きながら最終的に理解出来たことは、残念ながら近代オリンピック競技は政治とは切っても切れないものであると云うことで、どうしても時の権力者に媚を売る様なことも必要になってしまうことです。

最後に、結城和香子さんと云う女性の読売新聞社の記者さんのオリンピック物語を幾度となく読み参考にさせていただきました。ありがとうございました。

“終ります”

編集後記

「おもてなし」力を高めるには、自分が受けた「おもてなし」に気がつき、感激、感動する。そして、それをお客様にもしてあげる。

秀吉が京都東山で松茸狩りをしたとき、家臣たちが下見に行くと、すでに今日の人採った後だった。急遽、家臣たちは松茸を集め、夜を徹して植えた。

翌日、秀吉は子供のようにしゃぎ松茸狩りを楽しんだ。すると、側にいた女性がこれは自然に生えたものではないとささやいた。秀吉は「言うな。我らを喜ばせようとして、皆がやったことだ。その気持ちをありがたく受け取ってやらねば。」と、笑った。

(K.S)